



夕暮れの光を浴びるキリン(ケニア・マサイマラ野生動物保護区、2006年)

完璧な構図と被写体のポージングはこうして生まれる。写し出された動物たちの姿は、まるで彼に肖像画を描くことを許したかのようだ。こうした写真を通じて、命の尊さを伝えたいと、ブランドトは言う。「動物は私たちが変わりない存在だと感じてもらいたい」。使い古された言葉かもしれない。だが彼の写真を見ていると、聞き飽きたはずの言葉があらためて心に迫ってくる。それはここに写る光景が、確実に姿を消しつつあるからだ。

N

夕

A Shadow Falls
野生動物の静謐なる命の営み

PHOTOGRAPHS BY NICK BRANDT

Picture Power



岩場のチーターの親子(タンザニア・セレンゲティ国立公園、2007年)



嵐の到来を待つライオン(ケニア・マサイマラ野生動物保護区、2006年)



湖の浅瀬に立つシマウマ(タンザニア・ヌゴロンゴロ・クレーター、2005年)



水を飲む象(ケニア・アンボセリ国立公園、2007年)



ヒヒの横顔(ケニア・アンボセリ国立公園、2007年)

Picture Power

PHOTOGRAPHS BY NICK BRANDT

撮影：ニック・ブランドト ロンドン生まれ。美術大学で映画と絵画を学ぶ。2000年から東アフリカで写真撮影を始め、独自のスタイルで高い評価を得ている。今回の作品は最新写真集

「A Shadow Falls」からの抜粋